

石高は令和5年度で100周年。次の100年も生徒が自己実現を果たせる学校として、 **ICTでこれからの時代の学びを推進します。**



既に小中学校では令和元年度から始まったGIGAスクール構想により、一人1台端末を実現しており、学校での授業や日常生活にICTが利用されています。そこで、石巻高校でも一人1台端末の実現によるICT活用の充実を計画しています。

このリーフレットでは、学校で一人1台端末が求められている背景や石巻高等学校でのICT活用について説明します。

コンピュータを活用して〇〇するのは、当たり前前の時代



コンピュータで
できることが求められる時代

私たちの生活や社会では、コンピュータを日常的に使うことは当たり前のこと。これまでの学校教育ではその当たり前が不十分でした。



コンピュータで
学びを充実できる時代

AIドリルやコンピュータによる試験に限らず、コンピュータを活用することで、これまで以上に学びを充実することができるようになります。



未知の問題に対応することが
求められる時代

未知の問題に対応する力が求められる時代。その力を限られた授業時間内に身につけるためには、コンピュータの効率的な活用による学びは欠かせません。

だから小中学校では、GIGAスクール構想



G I G A
スクール構想
で進化する学校



寺子屋の時代から
何も変わらない学校の風景



ICTの導入で児童生徒の話し合いやグループ活動、考える時間が増え、これからの時代の主体的な学びを実現。

高校の学習内容や大学入試も変化します。

高校での学びが
変わります

令和4年度から高等学校で実施されている学習指導要領（国が定めた学校で学ぶ内容等を決めた基準となるもの）では、情報活用能力（情報モラルを含む。）を学習の基盤となる資質・能力と定め、「コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段（中略）を適切に活用した学習活動の充実」を求めています。

大学入試が
変わります

ここ数年の大学入試センター大学入学共通テストでは新しい学習指導要領を踏まえた情報活用能力や探究的な学びを意識した問題が出題され始めています。また、令和7年からの大学入学共通テストでは「情報I」が必修の受験科目になります。さらに、将来的にはコンピュータによる試験の実施も検討されています。

**これからの時代、ICT端末は文房具と同じです。
社会や学校の変化に対応するため、石高はICT活用に取り組みます。**



石巻高校 生徒心得綱領「質實剛健進取獨創自ラ進運ヲ開拓スベシ」

ICTを活用し、これからの時代を創ろう

令和5年度に100周年を迎える石巻高校。100年前から自ら道を切り開くことを生徒心得綱領としています。生徒自身がICTを活用し、今後、必要となる資質・能力を身に付けることができる地域の拠点校として、これからの100年も生徒が自己実現を果たせる学校であり続けます。

石巻高校におけるICT活用について Q&A

石巻高校で推進する一人1台端末によるICT活用について、Q&A方式で解説します。

Q 宮城県は「ICTでの学び」をどのように考えていますか？

みやぎ県政だより 令和4年7月・8月号（6ページ）には『特集2 ICTで「学び」が変わる』に宮城県の取組が掲載されていますので、ご覧下さい。



Q 一人1台端末をどのように準備するのですか？

令和4年9月6日に宮城県の公立高校における公費での一人1台端末の整備について、一部報道がされました。今後、県の方針に従い、本校でも一人1台端末の環境を整えていく予定です。

Q 家庭にはどのような負担がありますか？

詳細については、県の方針に従い、今後、検討していく予定です。

県が整備した端末の貸与を中心とした運用を行う場合であっても、これまでの教材等と同様に学習に必要なソフトウェアや教材の購入費用やサービスなどの利用に必要な利用料等のご負担を頂く可能性があります。

Q 在校生への対応はどうなりますか？

在校生については、現在、県が整備した端末を共有する形で学習に利用しています。今後の整備状況等を踏まえて、在校生への対応を検討していく予定です。



宮城県石巻高等学校

〒986-0838 宮城県石巻市大手町3-15
TEL 0225-93-8022 FAX 0225-93-8023
<https://sekikou.myswan.ed.jp/>

ICT活用の
最新情報は、
こちらから

